

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 4月 29日

大分県知事 殿



提出者

住 所 大分県中津市大字昭和新田1番地

氏 名 ダイハツ九州株式会社

代表取締役社長 日野 克浩

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0979-33-1216

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダイハツ九州株式会社 大分(中津)工場
事業場の所在地	大分県中津市大字昭和新田1番地
計画期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E-31 輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	6,000 百万円
③ 従業員数	4,000 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照

第 一 號

關於...

查...

...

...



...

...

...

...

...

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ 年度）実績】		
	①現状	産業廃棄物の種類	別紙3 参照
排 出 量			
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項


①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：別紙1 参照 取組：別紙3 これまでに実施した取組 参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：廃プラスチック 取組：分別による一部有償化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t
(今後実施する予定の取組)			

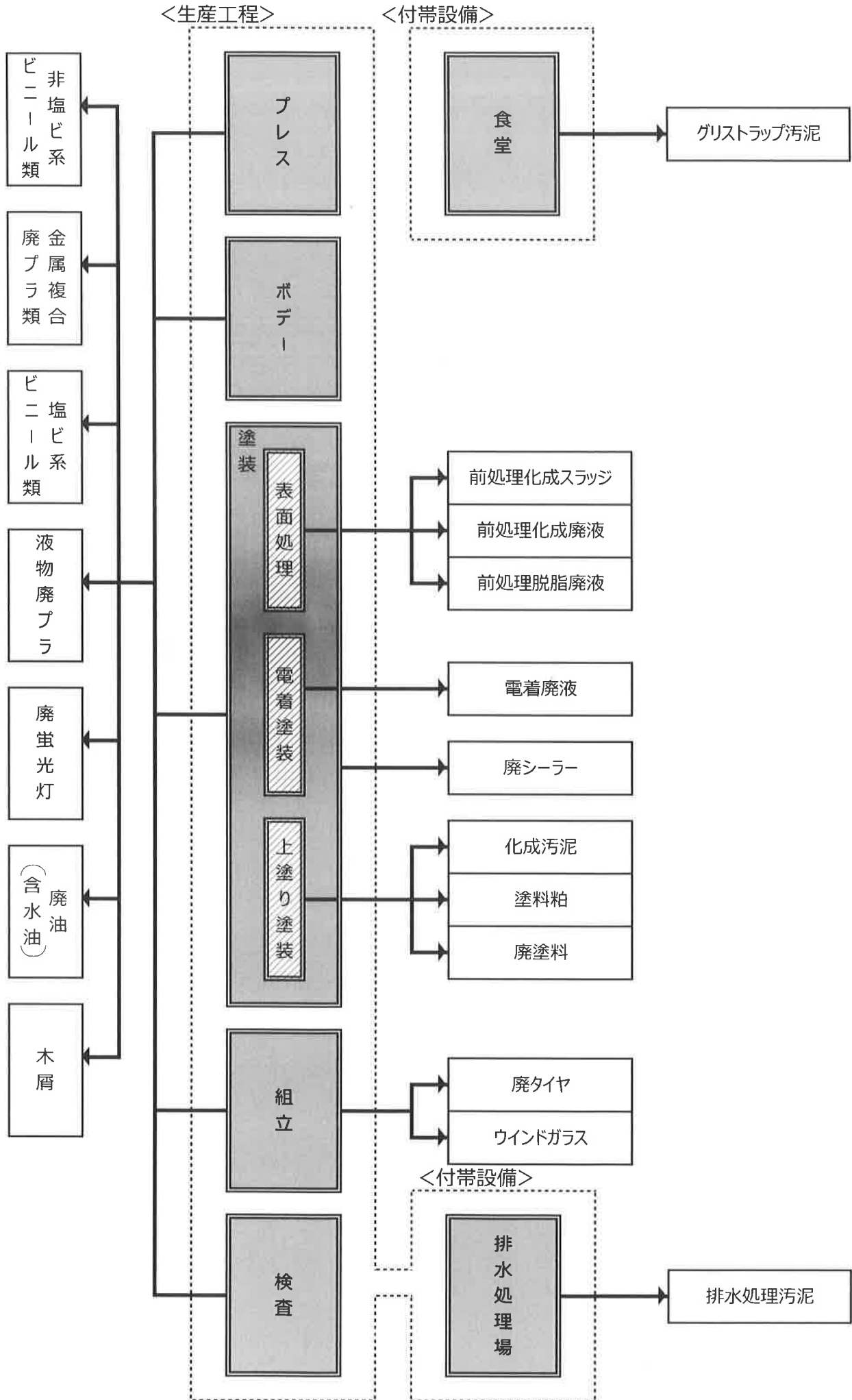
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

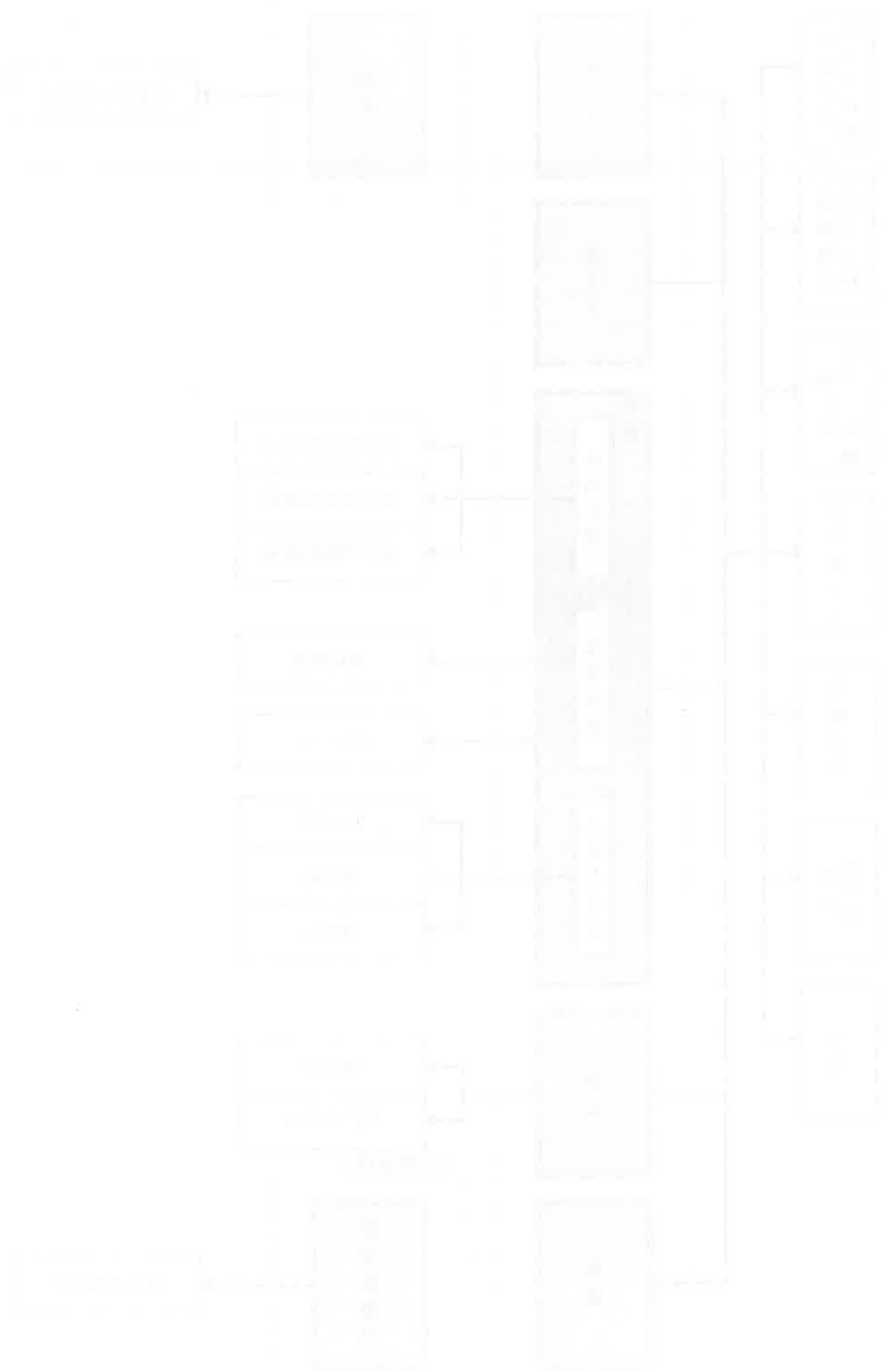
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

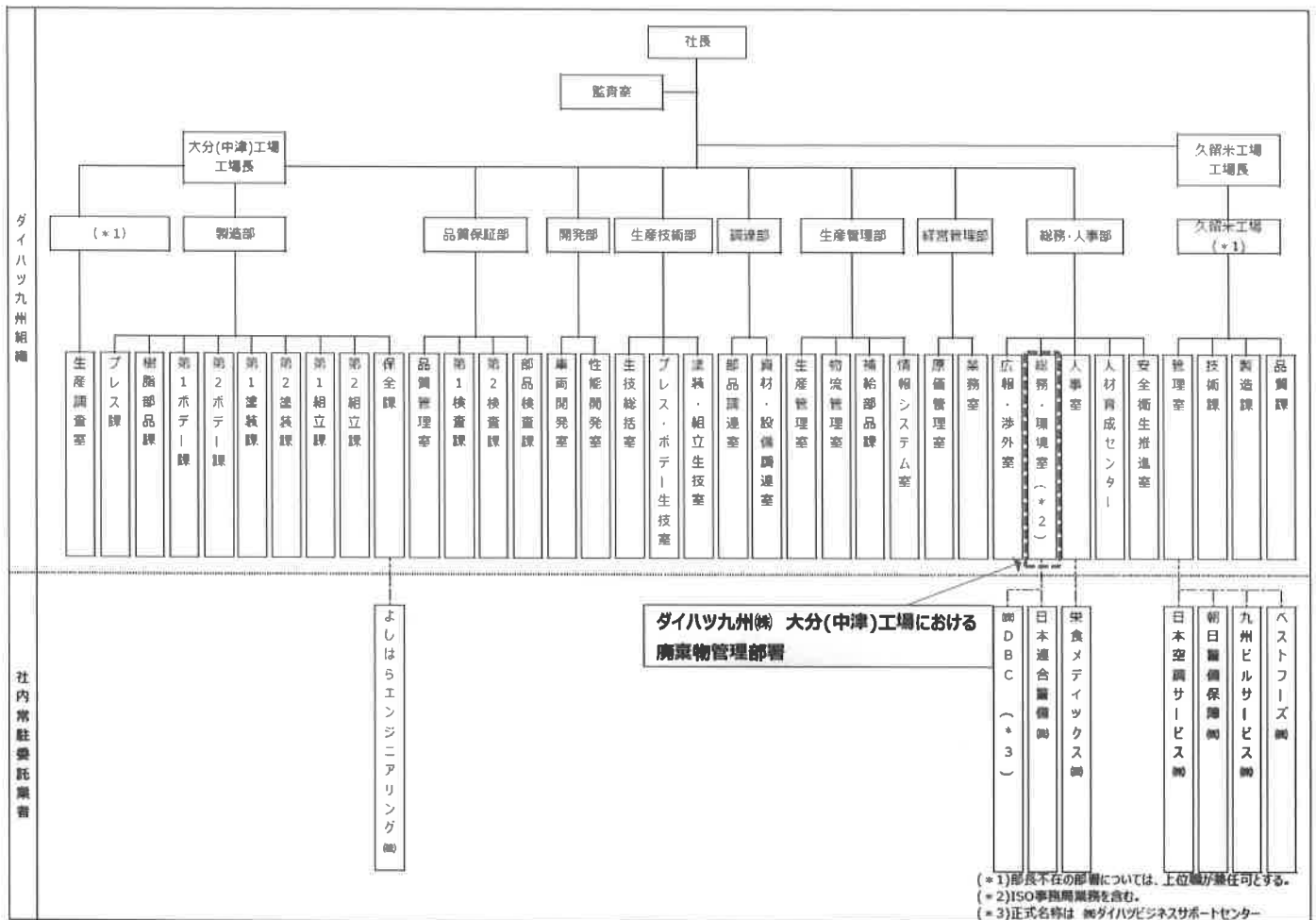
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙4 参照
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		





ダイハツ九州(株)のEMS組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（2020年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	排出量	2,930t	1,415t	8t	1,025t	259t	117t	13t
(これまでに実施した取組)								
汚泥		・排水処理汚泥の減水化（高効率脱水機の導入）						
廃プラ		・金属複合廃プラの分別徹底による発生量削減						
廃油		・塗装ロボット塗着効率改善による廃塗料発生抑制						
②計画	【目標】 廃棄物発生量 台当り原単位 1.0%削減							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	排出量	2,985t	1,442t	8t	1,045t	264t	119t	13t
前提条件 2020年度生産台数 45.8万台 2021年度（生産予測値） 47.1万台 削減目標 台当り1.0%削減								
(今後実施する予定の取組)								
廃プラ		<ul style="list-style-type: none"> ・金属複合廃プラの分別徹底による発生量削減 ・部品組付不良による廃却ロス低減による廃プラ発生削減 ・廃プラ類の有価物化 ・紙ゴミの分別徹底による有価物化 						

Category	Item 1	Item 2	Item 3	Item 4	Item 5	Item 6	Item 7	Item 8
Section 1								

(一) 凡在本市行政区域内，因土地权属关系引起土地权属争议，当事人之间协商不成的，可以申请调解、仲裁或者依法向人民法院提起诉讼。
 (二) 土地权属争议的调解、仲裁，应当遵循自愿、合法、公平的原则。
 (三) 土地权属争议的调解、仲裁，应当在当事人提出申请之日起六个月内完成。

Category	Item 1	Item 2	Item 3	Item 4	Item 5	Item 6	Item 7	Item 8
Section 2								

(四) 土地权属争议的调解、仲裁，应当遵循公开、公正、公平的原则。
 (五) 土地权属争议的调解、仲裁，应当在当事人提出申请之日起六个月内完成。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（2020年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	全処理委託量	2,930 t	1,415 t	8 t	1,025 t	259 t	117 t	13 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	139 t	8 t	84 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2,920 t	595 t	0 t	941 t	259 t	117 t	13 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10 t	681 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)								
<ul style="list-style-type: none"> ・マテリアルリサイクル処理業者、サーマルリサイクル処理業者への委託 ・委託業者現地確認実施 ・電子マニフェスト導入による処理状況相互確認の徹底 								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	全処理委託量	2,985 t	1,442 t	8 t	1,045 t	264 t	119 t	13 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	142 t	8 t	86 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2,975 t	606 t	0 t	959 t	264 t	119 t	13 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10 t	694 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)								
<ul style="list-style-type: none"> ・マテリアルリサイクル処理業者、サーマルリサイクル処理業者への委託継続 ・委託業者現地確認の継続実施 								

